

森のおくりもの 1月



ヤマガラ (シジュウカラ科)



自然観察センターでは12月から3月末迄の間、館内から野鳥の食事風景を観察することが出来る「野鳥のレストラン」をオープンしています。バードテーブル(餌台)にはヤマガラやシジュウカラなどが訪れ、藪の中に目を凝らすとカシラダカやアオジなどの姿を観察することが出来ます。

餌をついばんでいる様子を窓に設置したのぞき穴から眺めると、物怖じしない大胆な子もいれば、草かげからなかなか姿を現さない慎重派もいるなど、鳥たちの性格の違いにも興味をそそられます。

夢中になって観察をしていると、時間が過ぎるのを忘れてしまいそうになりますが、そんな私達を実は鳥たちも観察しているのかもしれない。

みなさま、本年もどうぞよろしくお願い致します【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『ねずみの嫁入り（ねずみのよめいり）』

2020年は子年。ネズミにちなんだことわざや慣用句を探したところ、よくない意味がほとんどで年頭にふさわしい言葉を選ぶのに苦労しました。

ねずみを題材にした昔話に『ねずみのすもう』や『ねずみ浄土（おむすびころりん）』などの心温まるお話があります。鎌倉時代の仏教説話集『沙石集』にある『ねずみの嫁入り』は、愛娘を天下一の相手と結婚させたくて太陽に申し入れに行くが、太陽より雲が、雲より風が、風より壁が、壁よりネズミが強いと次々に言われ、結局隣に住んでいるネズミと結婚するというお話です。「幸せは手の届く身近なところにある」という教訓は、あの有名なメーテルリンクの童話『青い鳥』と同じです。後にネズミのようなたいしたことのないものが一番だということから「多くの選択肢から理想通りのものやそれ以上に良いものを求めても結局一番無難な結果に落ち着く」ということわざになりました。

このお話には「誰にでも優れている得意なことと、劣っている苦手なことがあって、完璧な人はいない。ものや人の価値は簡単に決められるものではない。」という教えがあります。誰にでも秀でたところがあり、人それぞれ大切な存在だということです。

悪いイメージで比喻されるネズミ。滅多に出会えませんが、森にはアカネズミやヒメネズミなどが棲息していて、姿や仕草はとてもかわいいです。鼠算式に増えるという言葉があるように繁殖力が高いことから子孫繁栄のご利益、神話の由来から大黒天のお遣いになっているなど、縁起の良い象徴でもあります。

冬枯れの雑木林の景色になったら、足元のコケが際立って見えました。特別なことや珍しいものに注目しがちですが、ありふれたものにも素敵な光景があり、自然の素晴らしさを改めて感じました。 【レンジャー：新田隆一】



樹皮クイズ

冬の森で植物観察をするとき、名前を調べるのに悩むことはありませんか？冬に植物の名前を調べるのに冬芽の観察をしますが、それと並び樹皮の模様をおぼえておくとさらに便利です。樹皮だけでは葉や花と比べると特徴がつかみにくいので、少し難しいですが、冬芽や葉痕と複合して調べるとさらに見分けやすくなります。あなたもこの冬、そんな樹皮に注目してみませんか？

この樹皮は何？下の□から選べ！！（答えは次のページ）



① 常緑樹



② 新芽は赤い



③ カエデの仲間



④ 赤い実をつけます



⑤ ミカン科の植物



⑥ コルク質の樹皮



⑦ トゲトゲが特徴



⑧ サクラの仲間



⑨ サクラの仲間



⑩ 花粉症



⑪ これも花粉症



⑫ 美味しい実をつけます

クリ・ウワミズザクラ・イイギリ・ウリハダカエデ・アカメガシワ・アカマツ・キハダ
カラスザンショウ・オオウラジロノキ・ヒノキ・スギ・カスミザクラ

【レンジャー：齋 正宏】

※冬芽（ふゆめ） 春に葉や花になる部分。

※葉痕（ようこん） 葉が枝についていたところに残るあと。

※樹皮（じゅひ） 樹木の幹や枝の表面を覆う皮状の組織。

森の「おとしもの」



その17 「昆虫たちのサバイバル」



「これって何だと思えますか？（写真左上）」

ガイドウォークであずさちゃん（仮名）に聞くと、いとも簡単に「カマキリのタマゴ！」と答えられました（右上）。ちえ～！難しいと思ってヒントもたくさん用意していたのに。オオカマキリのお母さんは子供たちが無事に冬を乗り切れるようスポンジ状のもので厚く包みます。断熱性が高そうで私はダウンジャケットを連想しました。手でちぎろうとしてもけっこう丈夫です。誰かが食べたのでしょうか？（以前ヤマガラがつついているのを見た事がありますが…）かわいそうですが食べる方も食べられる方も生き延びるために必死なのでしょう。

10センチほどの高さのササについたクスサンの繭（左下）、やっと見つけたと思ったら中身がありませんでした（右下）。裏返すと真ん中がまるで刃物で切り取られたように丸い穴があいていました。もしかしてネズミの仕業？今年は何年だし？…

【レンジャー：木田秀幸】

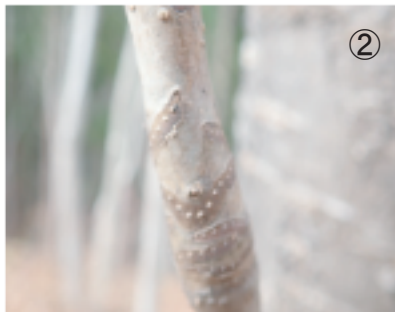


樹皮クイズの答え ①アカマツ ②アカメガシワ ③ウリハダカエデ ④イイギリ ⑤カラスザンショウ ⑥キハダ
⑦オオウラジロノキ ⑧ウワミズザクラ ⑨カスミザクラ ⑩ヒノキ ⑪スギ ⑫クリ

森は糸 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

観察の森の落葉樹はほとんどが葉を落とし、すっかり冬の景色となってきました。紅葉で飾られた美しい森も今では単色となり、ちょっと寂しい気がしますが、ちょっと待ってください。葉の陰で見えずにいたものが逆によく見えるようになってきましたよ。例えば樹形や樹皮。森を形どっていた木々の姿が個性豊かに現れてきました。また、葉が落ちてできた葉痕も種類によって動物やアニメのキャラクターなどに見えてくるのでうれしくなってしまいます。(^^♪



①は枝をのびのびと広げたアカシデ。残った実も羽を風に乗せて旅立っていきます。②は、ニヒルな笑い顔に見えるコシアブラの葉痕。鬼太郎に出てきた吸血鬼エリートの顔にそっくりです。③は炎のような髪の毛の不動明王でしょうか。ちょっとかわいらしいメグスリノキの冬芽と葉痕です。④は何者かの爪の跡でしょうか。想像力が掻き立てられますね。



葉が落ちて見えてくるものにはまだまだたくさんあります。今の時期は森で暮らす様々な生き物の姿や痕跡も見つけやすくなります。⑤はやすらぎの道の樹上で見つけたメジロの巣でしょうか。巣の表面は緑の苔で覆われ、夏の子育ての時期に見つけるのは大変です。⑥は緑のバックが枝に引っかかっているように見えますが、ウスタビガの繭です。繭の中の蛹は成虫となって無事卵を産めたのでしょうか。⑦はメスを見つけたクロスジエダフユシャクのオスです。メスには羽の痕跡がありますが飛ぶことはできません。オスは冬のこの時期、何も食べずにひたすらメスを探します。静かな森の冬ですが、冬晴れの抜けるような青空の下で、樹形を楽しんだり、冬芽や樹皮の観察をしてみませんか。思わぬ発見があるかもしれませんよ。(^^♪

【レンジャー：菅原 幸彦】



1月

のイベント&お知らせ



◆野生動物の暮らしを探ろう&上映会

・足跡などフィールドサインの観察とセンサーカメラの映像の解説で野生動物の生態に迫ります。

【日 時】：1月25日（土）10：00～12：00

【定 員】：20名〔先着 電話受付〕

【服 装】：歩きやすく暖かい服装と靴で

【申込み】：1月7日（火）午前9時から電話で



◆「野鳥のレストラン」好評開催中！（3月末まで）

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。野鳥に関するクイズに当たれば、『オリジナル野鳥のしおり』をプレゼント。



◆冬季のガイドウォークは午前のみの開催です。

・12月から3月までは10：00～11：30の午前一回の開催です。お間違いのないようお越し下さい。

・1月26日は『館長と森を森を歩こう』です。

◆天候の急変等で安全確認できない時はイベントを中止する場合があります。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日：5日、12日、19日、26日

開催時間：10:00～11:30

26日は観察センター館長がご案内します。

今月のテーマは「真冬の森の楽しみ」

1月の休館日

年始1～4日、6日（月）、
14日（火）、20日（月）、
27（月）

※月曜日が祝祭日の場合は
火曜日が休館です。



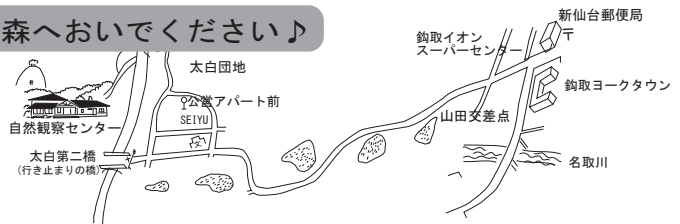
宮城交通バスの場合

- | | | |
|------------|-------|-----------|
| ① 仙台駅 | 7番のりば | 乗車時間 約40分 |
| ② 長町駅東口 | 3番のりば | 乗車時間 約30分 |
| ③ 八木山動物公園駅 | 6番のりば | 乗車時間 約10分 |
- 〔行先〕①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
（※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由山田自由ヶ丘ニュータウン行」）
 いずれも♀公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

2020年1月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL：022-244-6115 FAX：022-244-6133

E-mail：taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>